

OpenRTM-aist-Pythonのbranches/RELENG_1_1を整理する

2015/10/22 15:46 - n.kawauchi

ステータス:	終了	開始日:	2015/10/22
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n.kawauchi	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:	RELENG_1_1		

説明

- 1.1.1版リリースに向けての作業
- 1.1.1版のインストーラ・パッケージは、branches/RELENG_1_1からtagを打って作成する
- 1.1.0版はtrunkからtagを打ってしまったので、branches/RELENG_1_1へのマージ作業が滞っていた。この状態を改善させる。

履歴

#1 - 2015/10/22 16:33 - n.kawauchi

- ステータスを新規から解決に変更

- 進捗率を0から100に変更

- trunkの [r586](#) までと、r607-610がマージされている状態で作業を開始
- r588-605がマージされていないので内容を確認
- trunkの修正内容を確認し、コミットメッセージの頭に[compat],[incompat]等の見出し語を加え、分類を判別し易いように整理した
- compatibleと判断したr591-605をマージした

- r588-590のマージテストで競合したので修正内容を確認。競合ファイルは以下の2つ。

```
OpenRTM-aist-Python /OpenRTM_aist /Manager.py
OpenRTM-aist-Python /OpenRTM_aist /PeriodicExecutionContext.py
```

- Manager.py について
 - branchにマージしていない [r558](#) で修正されている
 - r558はECの大幅変更をPythonのtrunkへ反映させた修正。これはRELENG_1_2の修正のため、マージしない。
 - r558以降の修正は、r585 [r586](#) [r589](#) があるが、r585と586はマージ済み。ログメッセージが[compat,bugfix]となっている。
 - r589はマージテストで競合したので、ログメッセージに[incompat,->RELENG_1_2]と追加した
 - 正直、修正差分を見てもRELENG_1_2に該当する内容なのか判断できなかった。
マージしていないr558の修正を引き継いでおり、競合したことで、今回のマージ対象から外すと判断したもの。
- PeriodicExecutionContext.py
 - このファイルもr558でのECの大幅変更にて修正が入っており、この修正はbranchにマージしていない
 - [r588](#), [r560](#) はその後の修正になるのでマージ対象から外すと判断
 - コミットメッセージも[incompat,->RELENG_1_2]とした

#2 - 2015/11/20 09:27 - n-ando

- ステータスを解決から終了に変更